

緑の風

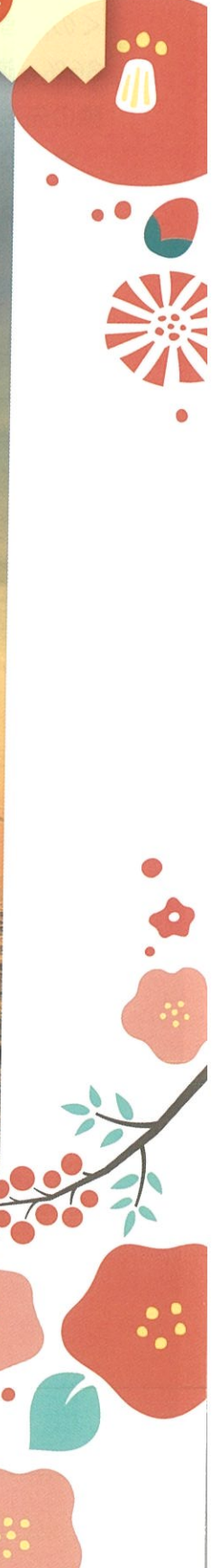
Midori no Kaze



岡山ろうさい病院
Okayama Rosai Hospital

第78号

冬



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年も岡山ろうさい病院は岡山市南区唯一の地域医療支援病院として「地域の人々に最適の医療を提供し、働く人の健康を守ります」の理念を実行して参ります。

岡山市南区のみならず近接する玉野市の医院・診療所・病院からも多くの患者さんをご紹介いただいています。令和6年の当院の紹介率は86%、逆紹介率は133%と高い数字を保つことができましたのは、近隣の先生方のご協力の賜物と存じます。誠にありがとうございます。

当院の診療で特記すべきは手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し昨年の8月より大腸がんの手術を開始したことです。順調に症例を重ねており、本年は前立腺がんなどロボット手術対象疾患を広げ、より安全で正確な手術をめざしていきます。

病院主催の種々のイベントがコロナ禍のため令和2年から中止されてきましたが、昨年より再開することができました。救急・防災フェアは9月に開催し、地震体験車、模擬手術室体験などが好評で、盛況裡に終えることができました。市民公開講座は同じく9月に今注目の疾患である認知症・フレイルをテーマに看護専門学校の講堂で開催しました。多数の方が熱心に聴講し、フレイル予防体操も体験されました。これらのイベントに参加いただいた皆様からのアンケートを参考に、より有意義なものになるよう本年も続けて参ります。

広報誌「緑の風」の年4回の発行に加え、本年からは毎月「ろうさい通信」を発行し、各診療科の治療アップデートを中心に皆様に最新情報を提供いたします。岡山ろうさい病院の今後の活動にご期待ください。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



院長
だてい いさお
伊達 勲



患者サポートセンターのご紹介

大石 イズミ

患者サポートセンターは岡山ろうさい病院における院内連携、院外連携に関するすべての業務窓口となります。当院に入院される方、入院生活に関する説明、薬剤指導、介護保険や社会制度の案内等をしております。

退院に関しても、地域のケアマネージャーとも連携し、安心して退院できるよう、地域での生活につながるように支援に努

め、地域医療を推進するため、他医療機関・施設と積極的に連携しております。

また、他医療機関からの紹介による診療を円滑に対応させて頂き、患者さんが入院・外来・地域のいずれにおいても適切な医療が提供できるように調整を行います。

患者相談窓口を設置し、医療相談や苦情および疾病と共に生活するための様々な相談、また虐待に関する相談も対応もしております。



患者サポートセンター 業務時間

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

(土・日・祝日と年末年始など、病院が休みの時は
相談室もお休みです。)

TEL 086-262-0131 FAX 086-263-2587

病院の理念

地域の人々に最適の医療を提供し、働く人の健康を守ります。

病院の基本方針

1. 患者の権利を尊重し、尊厳を守ります。
2. 地域の中核病院として、一人ひとりに最適な医療を提供します。
3. 治療と就労の両立支援を推進します。

患者の権利について

- 1 良質な医療を平等に受ける権利
- 2 十分に理解できるまで説明を受ける権利
- 3 医療行為を選択あるいは拒否する権利
- 4 診療に関する自己の記録などの情報を得る権利
- 5 個人情報保護される権利
- 6 セカンドオピニオンを求める権利
- 7 小児患者が幸せに生き、守られ、育つ権利

患者の責務について

- 1 自分の症状について、必要なことを正確に伝えてください。
- 2 診療上の必要な指示は守ってください。
- 3 医師・看護師をはじめ職員の指示に従ってください。
- 4 病院の快適な医療環境の維持にご協力ください。
- 5 病院敷地内での飲酒、喫煙は禁止します。
- 6 職員に暴力・暴言など行った場合は院外に退去していただくことがあります。
- 7 新興感染症の流行を踏まえ、マスク着用・手洗いなどの標準感染症予防対策にご協力ください。

特発性正常圧水頭症 (iNPH)

iNPHによる歩行障害、認知症、尿失禁は、手術により改善する可能性があります。

脳神経外科 富田 陽介

超高齢社会に突入した日本におきましては、認知症患者の増加や介護の負担も社会的な問題となっております。当院では、メディア等でも「改善する認知症」として取り上げられている**特発性正常圧水頭症 (idiopathic normal pressure hydrocephalus, iNPH)** の診療にも注力しております。iNPHの治療は、患者様ご自身のuseful lifeの観点からも、またご家族の介護を軽減するためにも、今後ますます重要になると考えています。

1、症状

● 歩行障害 (出現頻度90%~100%)

歩幅の減少 (小股でよちよち)、足の挙上低下 (摺り足)、歩隔の開大 (両足が開きぎみ) が三大特徴です。

このため歩行はゆっくりで、不安定となります、転倒しやすくなります。もっとも高率に出現します。

● 認知機能障害 (出現頻度70%~90%)

集中力、意欲、自発性の低下、反応速度の低下があります。

趣味などをしなくなり、1日中ボーっとしています。

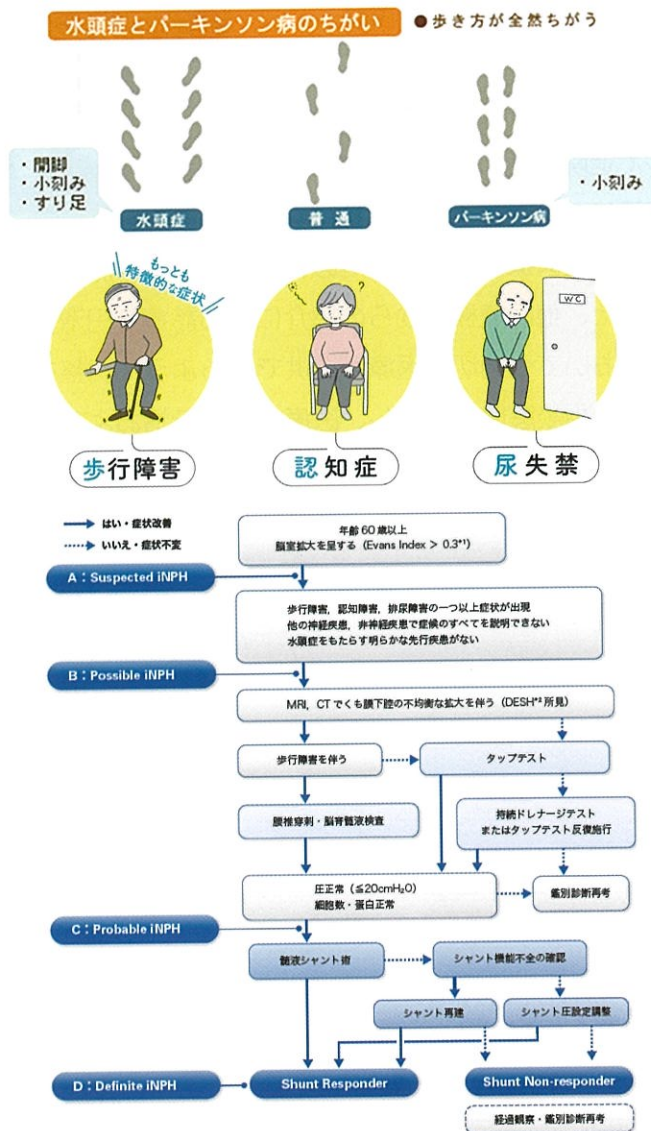
● 排尿障害 (出現頻度60%~80%)

トイレが近くなり、我慢できる時間が短くなります。

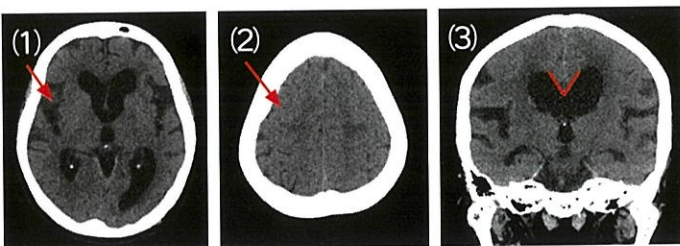
歩行障害のためにトイレまで間に合わずに失禁してしまうこともあります。

2、診断

iNPHは、頭部MRIや頭部CTによって診断します。**脳室拡大**と、その他の特徴的な画像所見 (**シルビウス裂の開大 (1)、高位円蓋部の脳溝の狭小化 (2)、脳梁角の鋭角化 (3)**) を確認します。画像所見と症状からiNPHが疑われる場合、**髄液排出試験 (原則3泊4日の入院)**を行います。髄液排出の前後で歩行状態の改善や認知機能の改善などが確認できれば、手術加療の適応があると判断します。

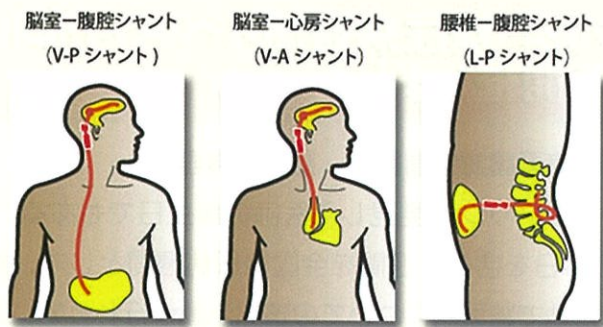


診療のフローチャート
※特発性正常圧水頭症ガイドライン第3版



3、治療方法

iNPHの治療は、髄液シャント術を行います。主には、脳室腹腔シャント（V-Pシャント）・腰椎腹腔シャント（L-Pシャント）を行います。まれに脳室心房シャント（VAシャント）を選択することもあります。いずれも全身麻酔で行い、**手術時間は1～2時間**です。シャントバルブには髄液の流量を制御する機能があり、術後の症状に合わせて調整します。**入院期間は10～14日程度**です。



髄液シャント術

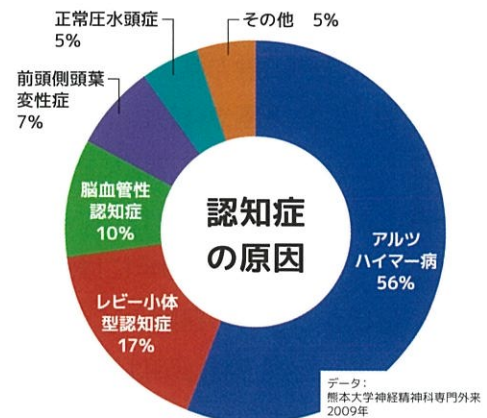
※特発性正常圧水頭症ガイドライン第2版

4、治療効果

髄液シャント術後の改善率は、歩行障害52%-80%・認知障害29%-59%・排尿障害41%-71%であるという結果が多施設共同研究（SHINPHONI2）に記載があります。（出典：SHINPHONI2）

5、発生頻度

iNPHは、認知症の原因疾患の5%-10%と言われており、年間罹患率は10万人あたり120人程度と言われております。これはパーキンソン病の患者さんの2-4倍であり、さらには慢性硬膜下血腫の罹患率よりも高いという試算もあります。つまり、予想以上に**身近に存在する疾患**であると言えます。一方で、その診療率は低く、ほとんどの方が見過ごされているのが現実です。



6、おわりに

iNPHの初期から**歩行障害**が出現することが多いです。杖などの歩行補助具が不要な状態であったとしても、**軽度の歩行障害による転倒などをきっかけに**病院を受診するケースが多いと予想されております。治療によって歩行状態が安定することで、転倒事故の予防につながることや、患者さんご本人の自立度の向上によって、介護負担が軽減され、**患者さんだけでなくご家族のQOL（生活の質）も向上**することが期待できます。少しでもiNPHが疑われる方がいらっしゃいましたら是非、ご紹介いただきたく申し上げます。

その他、気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。



2024 糖尿病週間イベントin岡山ろうさい病院 を開催しました


糖尿病看護認定看護師 高杉 麻里

インスリンを発見した医師の誕生日でもある11月14日を含む1週間を全国糖尿病週間として、毎年各地で糖尿病についての啓発活動が行われています。当院では、2014年から糖尿病看護認定看護師2名を中心に糖尿病サポートチームで企画し、看護部だけでなく他部署や事務の方々のお力を借りて、糖尿病週間イベントを継続して開催してまいりました。

2014年の初回は、今まで行いたかった事など多くのアイデアが出され、その中から厳選して当院でできる催しを企画し準備に時間を費やしました。血糖・血圧・腹囲・握力測定や血管年齢・推定塩分量の測定や、公開講座や体験型コーナーを設けチェックテストを行ったり、クイズに挑戦するポスターラリーなど様々なイベントを行い、参加して下さる人数も徐々に増え、2019年には90名以上の方に参加して頂き、ろうさい病院のイベントとして定着してきていました。それ以降はコロナ流行の影響のため対面でのイベントは取りやめ、ポスター展示のみを行うことになりましたが、今回5年ぶりに対面での催しを復活させることが出来ました。

企画者としても今まで行ってきた土台があったからこそ、今回のポスター展示方法の変更や体験型講座の場所など、相談しながら多くの方のご協力を得ることもでき、無事に開催することが出来ました。

今後もパワーアップした企画を考え、皆様のお力を借りながら多くの方に糖尿病への関心を持っていただけるイベントを開催していきたいと思っております。



日本糖尿病協会
公式キャラクター
マールくん

2024 糖尿病週間イベント

「世界糖尿病デー in岡山ろうさい病院」のご案内

清秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、11月14日を含む1週間を全国糖尿病週間として、毎年各地で糖尿病についての啓発活動が行われております。今年は11月11日～17日が全国糖尿病週間です。これに先がけまして岡山ろうさい病院では、糖尿病についての知識と理解をさらに深めていただきたく、イベントを開催いたします。ご興味のある方は、どなたでも参加できますので、皆様お誘いあわせの上、お気軽に参加くださいますようお願いいたします。

記

日時 : 令和6年11月12日(火) 13時15分～14時30分
場所 : 岡山ろうさい病院 正面玄関ロビーと別館1階フロア サポートセンター奥の会議室
参加 : 申し込み不要、無料、体験型講座は先着順

世界糖尿病デーイベント in 岡山ろうさい病院

みんなで正しく理解しようダイアベティス ～「糖尿病」から世界共通語の「Diabetes」へ～

11月1日(金)～15日(金) 冊子・ポスター展示(別館1階)
*ご自由に見ることが出来ます

11月12日(火) 13:15～ *正面玄関ロビーと別館1階フロアにて
血糖測定・血圧測定 *ご希望のかた
なんでも相談(医師・看護師・栄養士・薬剤師が対応)

*サポートセンター奥の会議室にて
体験型講座(2部構成: 1回15名様まで)
第1部) 13:30～13:50 第2部) 14:00～14:20

*13:10～第1部、第2部の整理券をお配りします
先着順となりますのでご注意ください

岡山ろうさい病院 糖尿病サポートチーム



イベントの様子!



2019までのイベントの様子



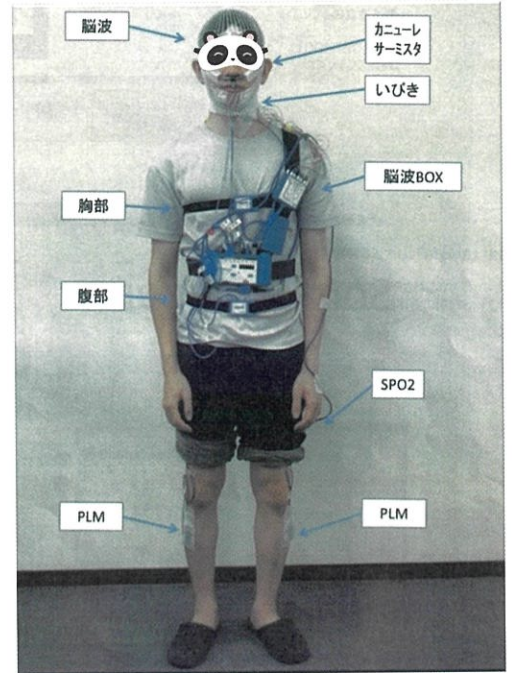
中央検査部からのお知らせ

● 睡眠ポリソムノグラフィー検査

睡眠中いびきをかいたり呼吸が止まっているご家族の方はいらっしゃるいませんか？

もしかしたら睡眠時無呼吸症候群（SAS）かもしれません。睡眠中に気道が狭くなったり閉塞することで低呼吸や無呼吸になる病気です。

SASの検査はご自宅でできる簡易検査と病院に1日入院していただくフル検査があります。簡易検査は3つのセンサー（指・腹・鼻）、フル検査は頭や顔、腹、足などにたくさんのセンサーをつけて寝ていただきます。令和6年6月から簡易検査は新たな機械を導入しています。また従来のフル検査では有線の機械を採用しており行動の制限がありましたが、昨年からは無線の機械になりましたのでお部屋内やトイレも自由に移動していただけます。ぜひ一度ご相談ください。



病院からのお知らせ

○ ボランティア募集

始めてみませんか？ 病院ボランティア

『患者さんのために』とお考えの方なら誰でも参加できます。特別な資格などは必要ありませんので、興味のある方や活動ご希望の方はお気軽にご連絡ください。

参加条件

- ・ 病院ボランティアの趣旨に賛同し、協力的に活動して下さる人
- ・ 活動の時間等約束が守れる人



募集期間 通年

活動日時

月曜日から金曜日の9:00~11:45（祝祭日を除く）のうちご自身の都合のいい日時で別途相談

活動場所 岡山ろうさい病院

主な活動内容

- ・ 外来での患者さんへの援助活動（院内への案内・受付援助・車椅子の介護ほか）
- ・ 院内での環境整備活動 ほか

ボランティア研修あり
交通費支給あり
健康診断や予防接種を
当院で受ける
ことができます



申込方法

電話またはメール
連絡先 shomu2@okayamah.johas.go.jp
086-262-0131（総務課）

○ 看護師（正規）募集

詳しくは病院ホームページをご確認ください。

